



# 日動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番  
(公) 043 (222) 7207 番

97.7.28 No. 4630

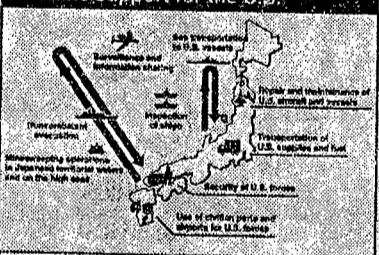
ASIA-PACIFIC REGION INCLUDED

## Japan, U.S. unveil war manual

Japan and the United States on Sunday announced draft security arrangements that would give Tokyo its highest military profile in the Asia-Pacific region since World War II.

The war manual would obligate the Self-Defense Forces and other entities to extend full cooperation, save for actual combat and closely related activities, to support the U.S. military in the event the U.S. becomes involved in conflicts in the region around Japan. Potential conflicts are

### Wartime support for the U.S.



### What Japan would offer

Proposed for strengthening Japanese-U.S. defense cooperation include the following areas of Japanese support to the U.S. in the event of a war in regions surrounding Japan:  
\* Relief and transfer operations for refugees, provision of emergency materials to refugees  
\* Search and rescue operations at sea  
\* Inspection of foreign ships as part of activities for ensuring the effectiveness of economic sanctions for the maintenance of international peace and stability  
\* Noncombatant evacuation operations — use of Self-Defense Forces facilities and civilian ports and airports  
\* Allowing U.S. forces the use of Japanese facilities  
\* Provision of materials (except weapons and ammunition) and POL (petroleum, oil and lubricants) to U.S. vessels and aircraft

vessels, aircraft and other facilities provided, new territories to be provided and internment surrounding districts where combat being conducted. The report says Japan would also cooperate with the U.S. in search and rescue operations at sea in areas surrounding Japan and in evacuating of their respective nationals to safe haven according to the report. The current guidelines are

(6月8日付「シブハロ」)  
「タイムス」一面

1997年(平成9年)7月3日

### 罰則設け民間役務強制も 周辺有事法制

# 新ガイドラインは、戦争マニュアルだ!

新ガイドラインは、アメリカでは、あからさまに「War Manual(ウォー・マニュアル)——と呼ばれている。橋本政権は、「憲法の枠内で……」などというペテンを繰り返しながら、新ガイドラインが「戦争マニュアル」であることをおし隠して九月の日米最終合意——来年通常国会での周辺有事法制に向けてつき進もうとしている。十二日には、自衛隊の大規模輸送機C130が平然とタイに飛び立った。これはまさに新ガイドラインに基づく朝鮮派兵への予行演習に他ならない。

## 役務提供の強制措置を立法化?

七月三日の朝日新聞は、次のように報じている。

「周辺有事の際の日本の対

米協力に必要な国内法整備の検討対象二二項目が明らかになった。米軍に民間空港や港湾を提供する場合には、管理者である自治体からの協力を得るための法的措置のほか、民間業者の役務を提供する場合の強制措置(罰則等)の必要性なども盛り込まれている。

これは、新ガイドラインの次の項目に基づくものだ。

「中央政府及び地方公共団体の機関が有する権限及び能力を並びに民間が有する能力を適切に活用する」

運輸・通信・医療・港湾・空港・給電・建設などの「役務提供」、国家・社会の総動員を、強制措置に関する法整備をもつて行なうというのである。別掲の「二二項目」を見てもわかるとおり、われわれに直接関係する輸送分野でも、「後方

7月3日付(朝日新聞) 周辺有事の法整備 検討対象の22項目

「日米防衛協力のための指針」(ガイドライン)見直しに際し、周辺有事の法整備についての検討対象二十二項目は次の通り。

【人道的活動】現行PKO法は紛争後の人道的活動が対象。紛争前にも、食糧援助などの分野で人道的活動を行うための法的措置を整備する。

【捜索・救難】自衛隊による紛争当事国の遭難兵士の捜索救難の法的根拠などについて、戦時行為そのものによって被害を受けた兵

地域支援・補給」に関する「緊急事態に対応できる立法措置」が検討されている。拒否すれば「罰則」——逮捕ということだ。これは、戦後日本のあり方が全て変わるということである。大弾圧・労働運動の全面的な解体なしには成り立たないことだ。これが、新ガイドライン——戦争マニュアルの本質なのだ。

実際、新ガイドライン中間報告の直後にだされた、JR貨物の「基本問題懇談会の意見書」には、「『危機管理』の観点から、鉄道をはじめ複数の輸送手段を維持することが必要である」との項目が盛り込まれている。

## 労働運動の最大の課題として!

一九五〇年の第一次朝鮮戦争は、日本を一夜にして最前線基地とした。日本の産業はあげて軍需生産に動員され、国鉄労働

士を対象とする法整備

【国際平和と安定維持を目的とする経済制裁の実効性を確保するための活動】海自艦艇、巡視船が国連決議に基づき臨検を実施する法的規定の整備

【非戦闘員を退避させる活動】①在外邦人の艦船による輸送や②外国人輸送を邦人輸送の際の相乗りから拡大する現行自衛隊法に関する法的措置

【米軍の活動に対する日本の支援】①施設の使用②追加提供について、使用権限の取得、使用条件変更手続きについての整理③民間空港・港湾について港湾管理者(自治体)の協力、法的措置

【施設・区域の使用に必要な土地、役務、資材等の確保、その他の損失補てんについて】①「有事ACSA」の整理②補給対象物資について、「武器輸出三原則」上の武器に該当するものの取り扱いの整理

【同・輸送】現行法制下の輸送は訓練の場合に限る。緊急事態に対応できる立法措置

【同・整備】緊急事態発生時、自衛隊がACSAの適用範囲を超えて整備・修理業務を行う場合、自衛隊が米軍に協力できる新たな法的措置

【同・衛生】①仮設ベッドの設置許可、病床の設置基準緩和②緊急事態時に政府が施設を医療用に強制使用するための法的措置③覚せい剤などの調達不可能な医薬品提供にあたっての法的措置

【同・警備】①日米地位協定第一条が規定する施設及び区域外などの警備に関する立法措置②緊急事態に際して、米軍の要請に応じた警備を取り得るための措置

【同・通信】①緊急事態での新たな周波数の追加割り当てのための法的措置②場合の増大に伴う米軍の優先交通権に関する措置

者は、無休暇状態で軍隊と軍需品輸送のために動員され、八幡富士、日本鋼管などの鉄鋼、造船・自動車産業も米軍向けの生産・修理工場となり、発電所などの重要電源地帯はカービン銃で武装した警備員によって監視された。こうした状況のなか、軍需品の荷役を拒否したり、海軍に投げ捨てたり、業務命令を拒否して欠勤したり、労働者の抵抗・サボタージュが各地で聞かれ、多くの労働者が検挙された。また、朝鮮戦争に向う二年ほどのは、政令二〇一号による官公労働者からのスト権はく脱、レッドパーシ、ぼう大な首切り、下山・三鷹・松川事件、そして産別会議の解体と反共総評の結成など、労働運動に対する徹底した攻撃が吹き荒れた。新ガイドラインとの闘いは、まさに労働運動の最大の課題である。九月最終報告を阻止に向けて全力で立ちあがろう。

新たな10万人合理化粉碎!! 労働運動の新たな潮流めざし全国へはばたこう!!